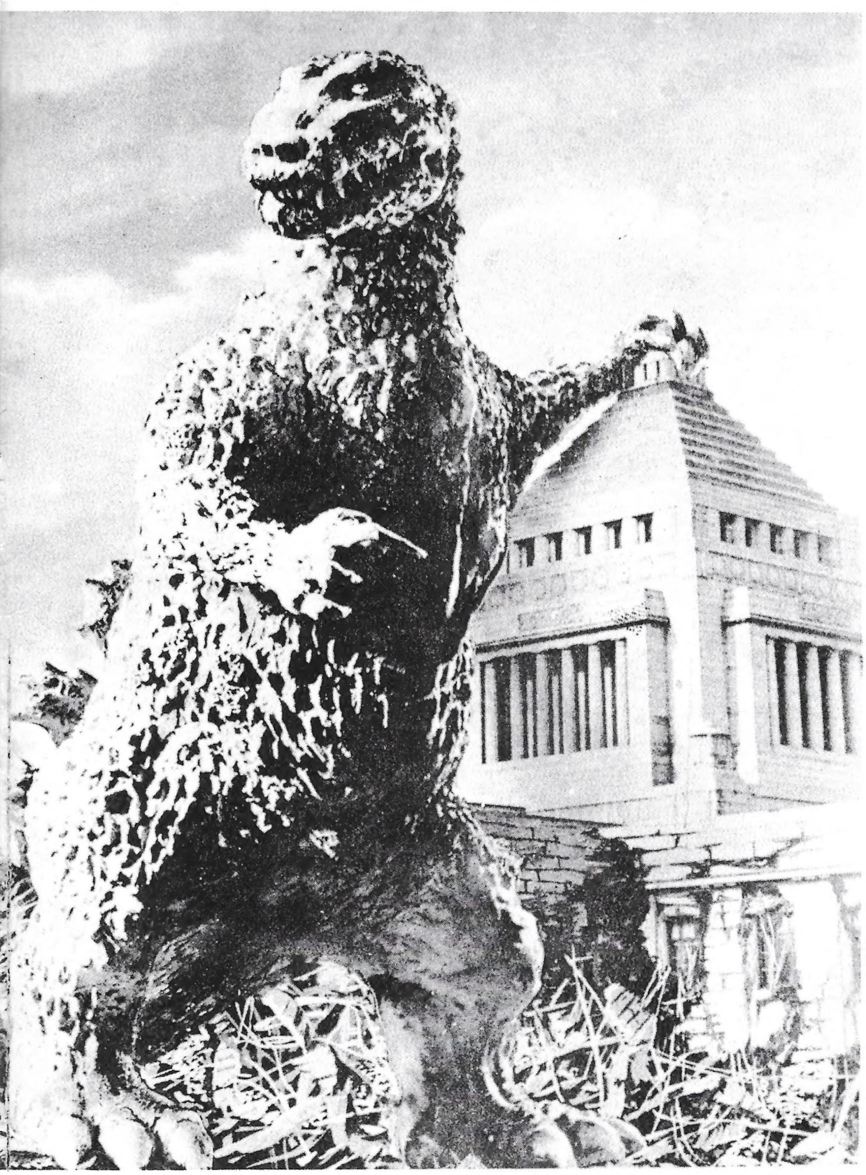

ゴジラ
東宝



東宝

ゴジラ

製作……田中友幸
原作……香山滋
脚本……村田武雄
〃……本多猪四郎

スタッフ

監督……本多猪四郎
撮影……玉井正夫
美術……中古智
録音……下永尚
照明……石井長四郎
音楽……伊福部昭
スチール……田中一清
監督助手……梶田興治
製作担当者……真木照夫
特殊技術……円谷英二
〃……渡辺明
〃……向山宏
〃……岸田九一郎



☆**廿世紀の恐怖！　水爆実験が生んだ驚異の怪獣ゴジラ！**
日本映画が表現し及ばなかつた完璧のリアリズムに依る科学空想映画！　伝統を誇る大東宝特殊技術陣が全機能を傾注した圧倒的巨篇！



凄絶！驚異！言語に絶する破壊力！全世界を恐怖のどん底に叩き込んだ火を吐く二百万年前の怪獣ゴジラ！

解説

映画最大の表現力を以つてあなたに迫る死の戦慄！

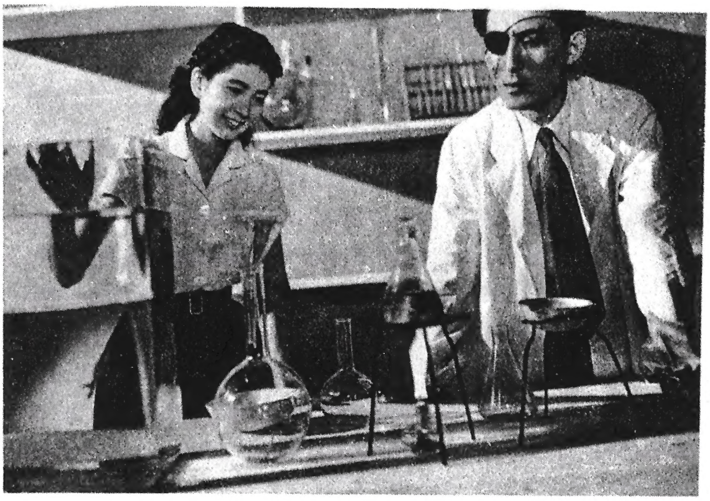
大東宝が全機能を挙げた特殊撮影陣の凱歌！アメリカ映画を凌ぐ驚嘆すべきスペクタクル巨篇

日本映画始まつて以来の試みである特殊撮影を存分に駆使した「ゴジラ」は二百万年以前の侏羅紀に棲息したといわれる海棲爬虫類の巨大な怪獣を想像創作したもの。水爆実験によつて海底数千呎に二百万年の眠りをさまされ、日本に上陸、丸ビルほどの巨体をもつて放射能を吐き散らし、人間が全能力をあげて空陸海から挑戦するという一大スペクタクル映画である。原作を科学冒険小説の権威香山滋に依嘱、製作は田中友幸で、村田武雄と本多猪四郎が共同脚色し、本多猪四郎が監督する。又この映画の成否を左右する特殊技術は「太平洋の鷲」の円谷英二、向山宏、渡辺明が中心に伝統を誇る特殊撮影陣を総動員、半歳の準備をとゝのえて万全の自信をもつてあたり、撮影玉井正夫、美術中古智、録音下永尚、照明石井長四郎、音楽伊福部昭のベストスタツフで臨んでいる。出演者は怪獣ゴジラに学者的良心で向う山根博士に志村喬、その娘を河内桃子、その恋人で熱血のサルベージ青年所長に宝田明、水中酸素破壊剤を完成し遂にゴジラと運命を共にする悲恋の青年化学者に平田昭彦、その他村上冬樹、小川虎之助、堺左千夫、髙堂国典、山本廉らが活躍する。



ゴジラとは何か！水爆実験で二百万年の眠りをさまされた、丸ビル大、体重三千頓の原始怪獣だ！怪白光を発し、口からはすべてを焼き尽す放射能を吐く！





★キャスト★

山根　恭平(古生物学者)	志村　喬
〃　恵美子(その娘)	河内桃子
尾形秀人(サルベージ所長)	宝田　明
芹沢　大助(化学者)	平田昭彦
萩原　(新聞記者)	堺左千夫
田畑博士	村上冬樹
政治(漁夫)	山本　廉
新吉(その弟)	鈴木豊明
その母	馬野都留子
田畑博士助手	岡部　正
船舶会社社長	小川虎之助
〃　無電課長	今泉　廉
新聞社デスク	手塚勝己
〃　ヘリコプター操縦士	
アナウンサーA	橘　正晃
〃　B	帯　一郎
変電所技師	中島春雄
対策本部長	笈川武夫
国会委員長	林　幹
大山代議士	恩田清二郎
大沢婦人代議士	菅井きん
村長	榊田敬二
老いたる漁夫	高堂国典
ダンサー	東　静子
連れの男	鴨田　清

物語



水爆・原爆の実験が続けられている太平洋上でのこと、北緯二十四度、東経百四十一度の地点で、栄光丸、備後丸、そして大戸島の漁船と相継いで原因不明の沈没事件が起つた。東京湾サルベージの青年所長尾形秀人も本社からの急報に、恋人恵美子との約束もなげうつて海上保安庁へ駈けつけた。保安庁詰の新聞記者萩原は遭難地点に近い大戸島へ行けば何か情報が得られるかもしれぬと、社のヘリコプターで急拠大戸島へ向つた。

国会は大戸島の被害と原因を確かめるために調査団を派遣させることにした。古生物学者の山根博士を団長にその娘で助手役の恵美子、サルベージの尾形、原子物理学の田畑博士、それに新聞記者の萩原や政治の弟新吉少年なども加わつていた。

調査の結果は驚くべきものであつた。伝説の怪物は実在する！そして、海中へ悠々と没してゆくその巨大な姿を見たのだつた。怪獣ゴジラの姿を！

国会の専門委員会での山根博士の調査報告は、恐竜やブロントサウルス等の巨獣が棲息した二百万年前、侏羅紀から白亜紀にかけて海棲爬虫類から陸上獣類に進化する過程にあつた生物―ゴジラが海底洞窟にでもひそんで現代まで生存を全うしていたのが、度々の水爆実験に生活環境を破壊され、あまつさえその水爆のエネルギーを全身に蓄積して恐るべき放射能を吐き出し、大戸島を荒船を瞬時にして沈没せさ、



愛を捨て生命を捨て、ゴジラに挑む青年科学者



とから、彼は恵美子にだけその秘密の実験室を見せた。誰にも他言しない約束のもとに――

ゴジラは遂に東京へ上陸した。数百名の武装警官が撃ち出す機銃弾もものかは、品川駅を押し倒し、列車をひきちぎり、鉄橋を踏み潰して海へ去つて行つた。対策本部は遂に海岸線へ五万ボルトの鉄条網を張りめぐらし、都民は疎開を始めた。自衛隊も動員され防備についた。ゴジラは再び東京へ上陸





島では奇蹟的に命を助かつた漁夫の政治が、海から出て来た巨大な怪物に火を吐きかけられて遭難したのだと言つても誰も信用しなかつた。たゞ、昔からの言い伝えを信じる老漁夫のみは、近頃の不漁続きもその怪物のせいだと言うのだつた。海の魚を喰い尽すと陸へ上つて家畜や人間まで喰う巨大な怪物、ゴジラ。萩原は信じかねた。しかし、厄払いの神楽が舞われた夜、暴風雨と共に島を襲つた怪物に、家々を破壊され、政治もその母も一瞬のうちに踏み潰されてしまつた。





したのであると結論したとき、議場は轟々たる大混乱におちいつた。ゴジラの存在そのものよりも、水爆実験と関係があるということが、日本の国際問題を難しくするというのである。

国民は原子マグロ、放射能雨、その上ゴジラと脅かされすつかり憂鬱になつた。政府はゴジラ退治にフリーゲート艦から爆雷攻撃を行つた。ラジオ、テレビは実況を伝えて、国民は安堵した。だが、水爆にも死ぬことなく放射能を吐くゴジラが爆雷くらいで参つてしまうだろうか？　はたしてゴジラは再び姿を現わした。仇でも討つように洋上遥かから東京目指してやつて来るのだ。ゴジラ対策本部が設けられ、山根博士も招かれた。

博士には芹沢大助という、尾形とは中学からの友だちで、今は化学者の愛弟子がいた。恵美子に愛情を抱いていたが、戦争に片目を失い、顔も醜くなつた彼は、自ら孤独を守り実験室に閉じこもつて秘密の研究をしていた。ある日、新聞記者の萩原が彼を訪ねたこ

した。五万ボルトの高圧電流もものかずではなく、鉄条網を寸断したゴジラは、口から強烈な白熱光を吐きながらあらゆる建物を踏み倒し、押しつぶし、戦車や重砲の攻撃にもびくともせず東京都内へ侵入してきた。議事堂を破壊し、テレビ塔をへし折り、その底知れぬ力と放能射をもつて、勝関橋を叩き落して海へ去つていつた。人々はたゞ茫然とゴジラの暴れるにまかせるだけだつた。一夜にして大東京は変貌した。焦土と化したなかに人々は住むに家なく、傷つき、放射能を身に受け惨憺たる有様であつた。

恵美子は尾形に芹沢の秘密を打ち明けた。ゴジラを征服する唯一の方法――それは、芹沢が完成した、水中の酸素を一瞬に破壊しつくし、凡ゆる生物を窒息死させ、液化してしまうオキシジェンデストロイヤーの使用以外になかつた。尾形と恵美子にそれを要請された芹沢は苦しんだ。彼が秘密に研究をした理由は、現代の人間に対する不信からであつた。一度公開すればこの恐るべき発明はたちまち破壊兵器として用いられるだけであろう。恵美子でさえその秘密を破つたではないか。だが、彼は遂に秘密の資料を火中に投じ、たゞ一箇のオキシジエンデストロイヤーをたずさえて、ゴジラのひそむ海へ、山根博士や尾形等と共に行く決心をした。彼は潜水服に身をつゝみ、海へ入つていつた。抱えたオキシジエンデストロイヤーの安全弁を抜いた彼は、なおも海中にあつてその効果を確かめると、自ら命綱も送気管も断つてしまつた。

船上にあつて目のあたりゴジラの断末魔を見て歓喜した人々も、秘かな恋を捨て、人間を信じきれず、その発明を自分だけのものとして死んで行つた芹沢に敬虔な黙禱を捧げるのであつた。

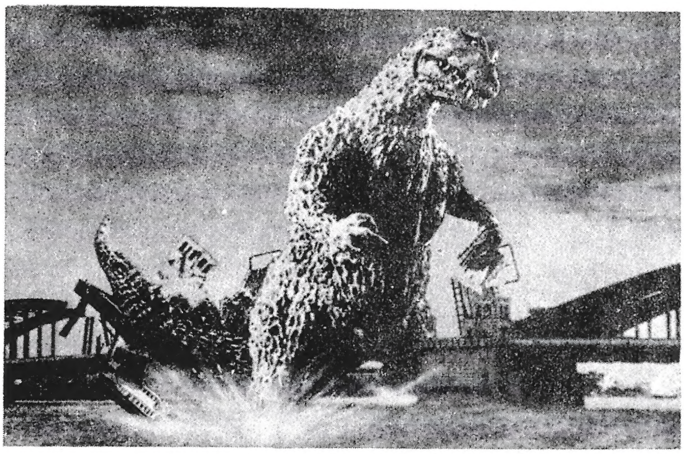
世紀の空想科學映画・撮影愈々佳境

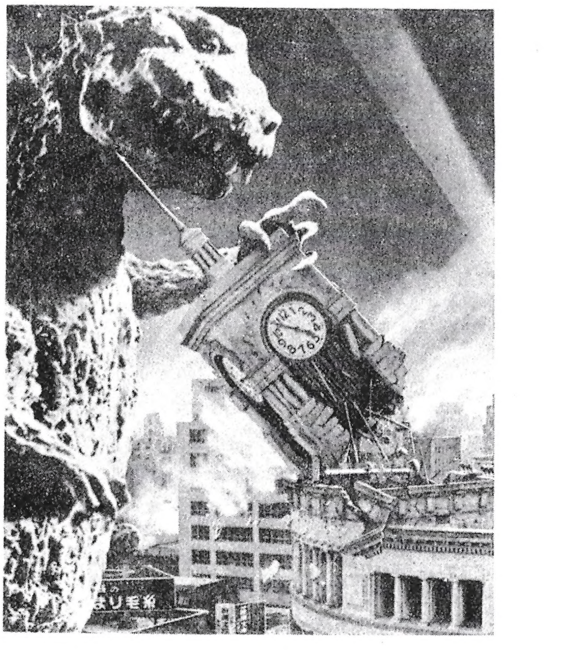
太平洋の深海に眠つていた二百万年も前の両棲類、丸ビルほどもある大大怪物が水爆の実験で海面に浮び上り、日本本土に上陸してくるという空前の空想科学映画だ。
☆このゴジラたるや海上自衛隊の虎の子のフリゲート艦隊をまず品川沖で叩きつぶし、特車もはねとばし、重砲弾もはじき返すというすさまじさ。放射能の火炎を吐きちらしながら至る所を荒れ廻るという構想なので、そのスペクタクル場面の撮影には今、東宝の特殊技術陣が総動員で大汗をかいている。



志村の古生物學者と河内の娘を圍んで宝田明と平田昭彦

☆ゴジラそのものは記録にのこるジュラ紀や白亜紀に、棲息したという恐龍やブロントサウルスの形を綜合、それに海棲類から陸上獣類に進化しつつある動物という条件をつけて創造したもの。実際の製作にはプラスティックを使用して、東宝撮影所の小道具係が当つたものだが、あのゴジラを動かす俳優はこの暑さにプラスティックのぬいぐるみにすつぽり入るわけだから並大抵の仕事ではなかつた。
☆撮影隊はABCの三班に別れ、俳優中心に劇的場面を綴るA班は志摩半島の石鏡（いじか）にロケを行つたが、村人たちや海上保安庁の絶大な協力をえ、天候にもめぐまれてこのほど帰京した。映画の中ではこの石鏡がゴジラの最初に上陸してくる大戸島のあたりということになるわけだが、附近の海中では平田昭彦の化学者が酸素破壊器を抱えてゴジラに必死に挑んでゆく息詰まる場面等も撮影された。ゴジラそのものの活動は、これにB班の撮影したフィルムが合成され、凄絶そのものの大スリル画面が現出される、建物その他の実景を中心とするC班が十月上旬クランク終了
☆映画「ゴジラ」は石三班が撮影したフィルムを東宝の誇る特殊技術によつて合成、その大きさ丸ビルほどもある大怪獣ゴジラが画面一ぱいに暴れ狂う凄絶なスペクタクル場面等を異常な迫真力でスクリーンに活写するものである。





怪獣もそれなりの苦労

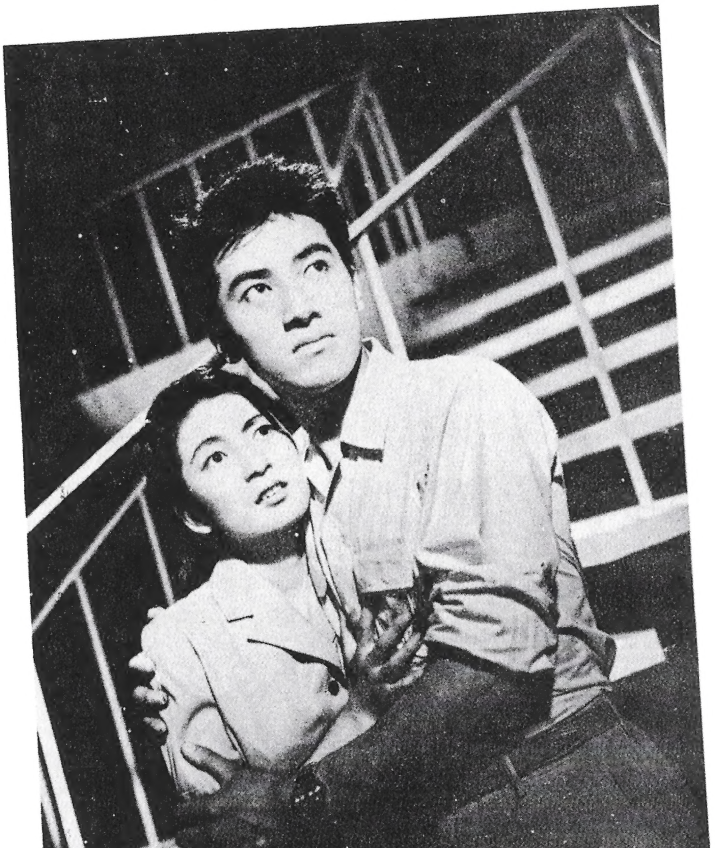
大スペクタクル映画「ゴジラ」は海底数千呎で二百万年の眠りを水爆実験からさまされて日本に上陸、丸ビルや電車を手玉に取るという物凄い怪獣が主人公である。これのヌイグルミを着てその怪獣に扮しているのが大部屋の俳優さんだが、これを炎暑のさ中、水銀柱がウナギ昇りのセツトの中で着込んでいたのだからどうも大変な御努力。或る日なんか数万円を投じたミニチュア・セットをうつかりつまずいて壊し、もう一度作り直すという失敗を仕出かした。いつもなら「馬鹿野郎！」の監督さんのお叱りを受けるところだが、そこはソレあの暑さの中でヌイグルミを着込むその努力を買つてか事なきを得たというが、この怪獣さんの心配事は。怪獣のサマ（動き）で特に人間の歩き方にならないよう注意しているというから、コレはこれなりで苦労がいるわけ。

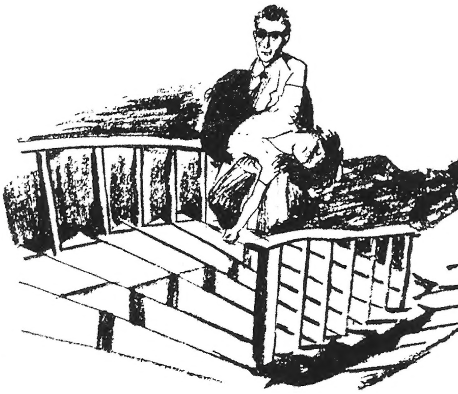


★現代人の水爆恐怖症を見事に視覚化した、空前絶後の科学空想映画！

この映画は単なる空想映画ではない！　水爆実験時代の人類が逢着した最後の悲劇を異常な迫力で描いた問題篇なのだ！

今や全世界の恐怖の的となつている水爆実験によつて、二百万年の眠りをさまされた想像を越える巨大な怪獣が、死の放射能を発し乍ら大東京を暴襲し、更にこれを迎え撃つ全人類との必死の攻防戦は、映画のみが表現し得る特殊撮影嘗つては「ハワイ・マレー沖海戦」近くは「大平洋の鷲」「さらばラバウル」等で特殊技術を担当した円谷英二が精魂を傾けて監督の本多猪四郎と協力、アメリカ映画をも圧倒する成果を挙げている——更に大東宝が全機能を結集して贈る映画史上始つて以来の（莫大な製作費や延人員等を並べる）スペクタクル怪獣映画である。





発行所　東京都中央区京橋二ノ一　京橋出版社　電話京橋(56)五二二七五